



大邱大学

Daegu University



大韓民国

●学部学生 17,373人 ●大学院生 1,571人 ●専任教員 625人

ホームページ <http://daegu.ac.kr>

交流協定締結年月日：2005年5月17日 主管学部：経済学部



国際交流の特色

大邱大学は、韓国第3の都市・大邱市に韓国で初めての障害者教育の高等教育機関として1956年に創立され、現在、学部数11、大学院数6、そのほか17の付属機関や14の付設研究所などを擁する韓国有数の規模を誇る総合大学である。このため、特に特殊教育・リハビリテーション・社会福祉・ライフサイエンスの分野では韓国でトップクラスにあるといわれている。電子工学や情報通信などの分野でも韓国優秀大学の一角に選ばれており、特に学部間学術交流協定を締結した経商学部は、近年優秀な人材を多数スカウトし、高度産業社会の要求に対応できる人材の育成に力を注いでいる。

交流実績（平成29年度～31年度）

年度	H29	H30	H31
受入・派遣			
学生の受入	0	0	1
学生の派遣	1	1	0
研究者・職員の受入	0	0	0
研究者・職員の派遣	0	0	0

教員からの声

2005年5月国際学術交流協定の締結以来、大邱大学と本学経済学部の間では、教員レベルの学術研究交流や学生レベルの教育交流が進められてきています。

2005年に大邱大学経商学部の先生を招いて交流協定締結の記念講演会を開催したのははじめ、2006年には大邱大学の新任学長の李学長と国際交流センター長が本校を表敬訪問し、2007年には香川大学経済学部主催の国際シンポジウムに大邱大学の先生が参加し報告されました。また、学生のレベルにおいても、2007年4月から、大邱大学経商学部から数名の交換留学生を本学経済学部で受け入れています。

香川大学の外国語授業で初めて韓国語を学び、経済学部の韓国研修に参加した経済学部生が、2018年に大邱大学へ1年間の交換留学に行きました。語学力のみならず、留学生活で培った知識や友人関係などのすべてが、一生の財産になると思います。今後も両大学の交流の機会を増やし、相互理解を深めて行けるよう貢献してまいります。

経済学部教授 朴 鏡杓・宮島美花

学生からの声

大邱大学は市内から少し離れた落ち着いたところに位置する、自然豊かで1年中とても美しい学校でした。広大な敷地と周辺にはコンビニ・カフェ・食堂・マートなどが充実しており、不便を感じず生活することが出来ました。語学堂はベトナム・中国・モンゴル・アメリカなど様々な国の生徒がいました。そのためいろんな国の文化を知る機会にもなり、とても良い環境でした。最後の6級クラスでは自分でテーマを設定してパワーポイントを製作し、実際に発表を行いました。この発表は達成感を得ることが出来て自信に繋がる良い経験でした。さらに2学期には語学堂と並行して大学の授業を受講しました。いくつかの映画を鑑賞して韓国の歴史を理解するものでした。字幕のない映画の内容・教授の解説、理解することだけでも大変でしたが、韓国側の視点から歴史を学ぶことはとても新鮮でした。大邱大学では、目標としていた韓国語の上達だけではなく、他にもたくさんのお得なことを得ました。私にとって成長する機会になり、とても充実した時間になりました。

H30年度経済学部交換留学生 犬塚 恵